

応募者名	焼津市	分野	企業の生産性向上
取組名称	『データドリブン経営』伴走支援で地元企業を元気に！	取組地域	静岡県焼津市

概要	
取組内容	本事業では、地域事業者のデータドリブン経営を推進するため、BIツール等を活用した伴走支援や専門家によるセミナーを実施している。伴走支援では、専門家が事業者を個別に訪問し、各事業者が抱える課題の改善策やデータ活用の具体的な手法を提案し、現場での実践をサポートする。また、セミナーでは、データの基礎知識や活用事例を紹介し、データの収集や加工、BIツールの活用方法まで、事業者がデータを効果的に活用するための知識とスキルを提供する。これらにより、地域の事業者がデータを活用した経営判断や業務効率化を進め、持続的に成長していける環境を整えている。
実績や効果	経験や勘に依存して経営判断を行っていたのが、データを収集・分析できるようになり、可視化された情報を基にした意思決定が可能となったことで、各事業者の業務改善や経営効率の向上につながっており、地域産業の活性化に寄与しているものとする。
取組全体を通じて訴えたいポイント	焼津市の主要産業である水産加工業事業者などの支援を行い、地域産業の課題に合わせたデータドリブン経営のサポートを行っている。また令和4年度に構築したデータ連携基盤と連携したサービスである「焼津データ分析サイト」を活用して、官民データの利活用を推進している。

詳細	
地域の課題解決・魅力向上	地域の課題解決に向けて、事業者のデータ活用を推進する取り組みである。専門家による伴走支援やセミナーを通じ、事業者がデータを活かして経営課題に対応し、効率化や改善を図る力を育成。地域のデジタル化を進め、地域産業の持続可能な発展を支える。
独自性・先進性	データ連携基盤で集積した市独自のオープンデータを活用することで、リアルタイムで更新される雨量情報と、参加事業者の来店者数のデータを可視化。それらを比較して、傾向や関係性の分析などを行っている。
持続性・発展性	分析ツールは、安価で操作性の良いノーコードツール（MS365）を活用している。事業者が継続してサービスを利用することができると、事業者の自走につながると考えている。
他地域への横展開	オープンデータ等を活用しながら、伴走型で地域事業者の課題の具体的な解決を図るフレームワークは他自治体でも展開が可能である。また、本事業で得られた成果は横展開を想定して市WEBサイトでも公開しており、取り組みの参考になると考えている。
取組を進めるうえで苦労した点	データ収集や分析方法について理解してもらうため、各事業者に時間をかけて説明し、サポートを行う必要があった。また、事業者ごとにニーズや課題は様々で、収集したデータの質やデータの流れを整理する必要があったことなどから、データクレンジングに多くの労力がかかった。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	専門家が事業者と継続的にコミュニケーションを取りながら、データの収集、分析、可視化を支援することにより、具体的な経営課題に合わせた解決策を導き出すことができた。
今後の展望	地域に横展開を図り、成功事例を共有することで、地域産業全体のデジタル化を促進し、産業の活性化を目指す。また事業者のニーズにあった市のオープンデータを拡大するため、事業者にヒアリングを行い、データドリブン経営につながる行政データの研究を進める。